

II 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

令和5年の島根県の観光入込客延べ数は30,194千人であり、前年と比べると、4,243千人増加(+16.4%)した。

〈観光入込客延べ数〉

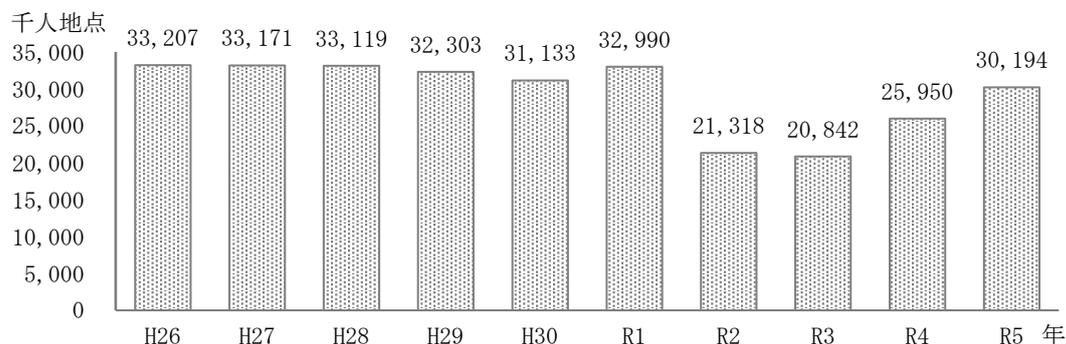
区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数(千人地点)	30,194	7,112	23,082
構成比	100.0%	23.55%	76.45%
対前年増減	+16.4%	+2.7%	+21.3%

注) 県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

【主な変動要因】

- ①新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う、観光需要の回復
- ②水際措置の大幅緩和によるインバウンド需要の回復
- ③全国旅行支援「しまね旅キャンペーン」による全国からの集客(令和5年1月上旬～9月下旬、12月上旬～下旬)

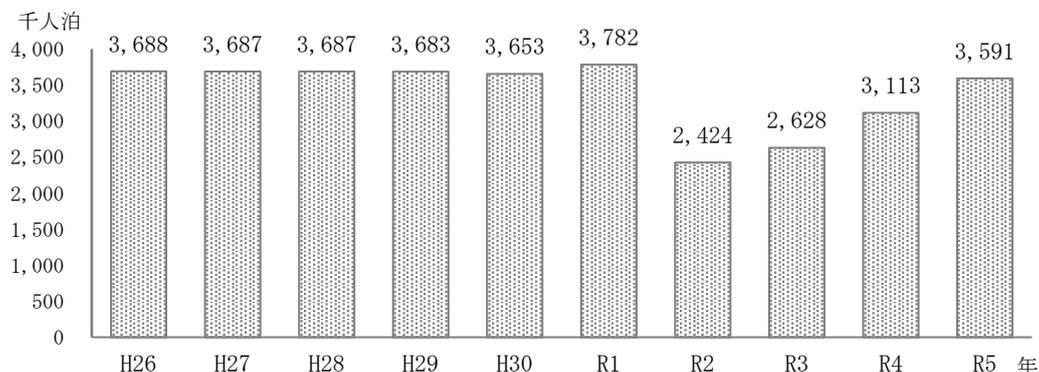
〈観光入込客延べ数の推移〉



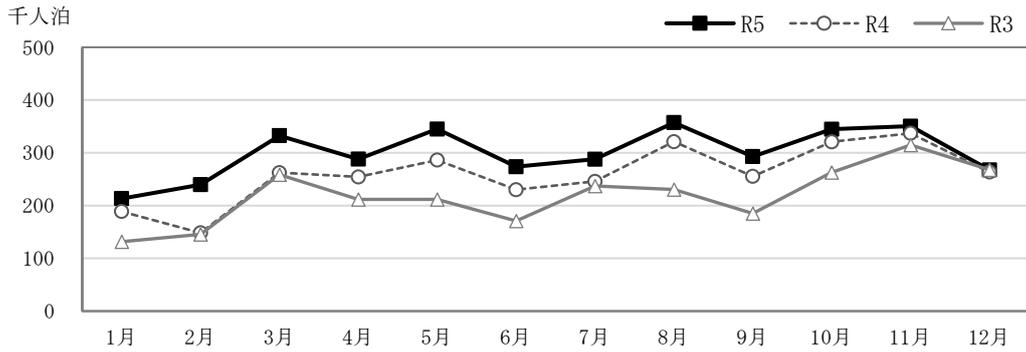
2. 宿泊客延べ数

令和5年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、3,591千人泊であり、前年と比べると、479千人泊増加(+15.4%)した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



〈月別宿泊客延べ数の推移〉



〈施設分類別宿泊客延べ数〉

区 分	ホテル 旅 館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ 場	合 計
宿泊施設数	244	122	4	33	35	438
宿泊客延べ数 (人泊)	3, 223, 833	93, 458	33, 442	137, 622	103, 138	3, 591, 493
構 成 比	89. 8%	2. 6%	0. 9%	3. 8%	2. 9%	100. 0%
対 前 年 増 減	+16. 0%	+20. 9%	+89. 3%	+12. 4%	-10. 5%	+15. 4%

3. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに、観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、12,592千人であり、前年と比べると、1,434千人増加(+12.9%)した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	12, 592	210	2, 190	4, 799	5, 393
構 成 比	100. 0%	1. 7%	17. 4%	38. 1%	42. 8%
対 前 年 増 減	+12. 9%	+21. 4%	+15. 5%	+14. 7%	+9. 9%

4. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に、観光入込客実人数を乗じて推計した令和5年の全県の観光消費額は、約1,143億円であり、前年と比べると、約195億円増加(+20.5%)した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果(直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和)は、1.27倍の約1,453億円と推計され、前年と比べると、約257億円増加(+21.5%)した。
注) 経済波及効果は、平成27年島根県産業連関表を用いて推計した。

〈1人当たり消費額〉

区 分	観光消費額単価 (円)	観光消費額 (百万円)	
		対前年増減	
県内客・宿泊	23, 834	-2. 7%	5, 016
県外客・宿泊	30, 239	+3. 3%	66, 234
県内客・日帰り	3, 093	+26. 3%	14, 841
県外客・日帰り	5, 239	+3. 3%	28, 252
計	-	-	114, 342

5. 外国人宿泊客延べ数

令和5年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、59,321人泊であり、前年と比べると、49,438人泊増加（+500.2%）した。

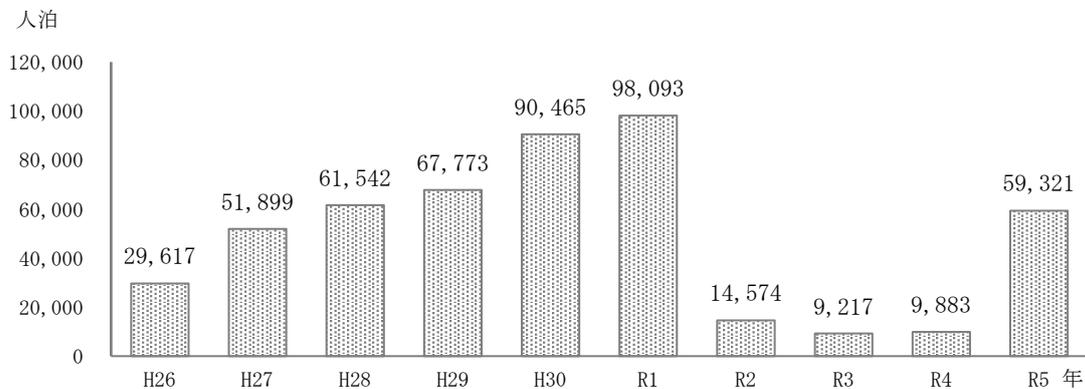
国・地域別では、台湾からが最も多く13,434人泊（構成比22.6%）、次いで中国7,708人泊（同13.0%）、韓国5,713人泊（同9.6%）であった。

〈外国人宿泊客延べ数〉

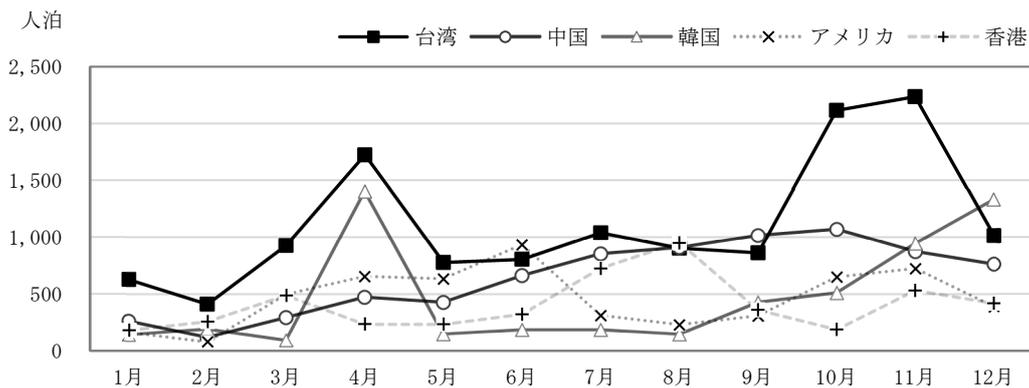
国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人泊	構成比	
台湾	13,434	22.6%	+2439.5%
中国	7,708	13.0%	+899.7%
韓国	5,713	9.6%	+1767.0%
アメリカ	5,566	9.4%	+164.4%
香港	4,885	8.2%	+1249.4%
フランス	4,373	7.4%	+1032.9%
オーストラリア	1,573	2.7%	+446.2%
ベトナム	1,534	2.6%	+7.3%
イギリス	1,341	2.3%	+440.7%
シンガポール	1,335	2.3%	+526.8%
インド	1,328	2.2%	+538.5%
ドイツ	929	1.6%	+391.5%

国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人泊	構成比	
タイ	905	1.5%	+373.8%
インドネシア	768	1.3%	+99.5%
カナダ	719	1.2%	+409.9%
フィリピン	517	0.9%	+151.0%
マレーシア	391	0.7%	+157.2%
ロシア	99	0.2%	+7.6%
その他ヨーロッパ	2,381	4.0%	+663.1%
その他アジア	849	1.4%	+294.9%
中南米	278	0.5%	-15.2%
その他オセアニア	235	0.4%	+1019.0%
アフリカ	55	0.1%	-43.3%
その他	2,405	4.1%	+239.2%
合計	59,321	100.0%	+500.2%

〈外国人宿泊客延べ数の推移〉



〈月別外国人宿泊客延べ数（上位5カ国）の推移〉



6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位10箇所は以下のとおりであった。

〈市町村〉

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	12,087,648	+15.1%
松江市	8,569,856	+19.6%
浜田市	1,542,242	+15.0%
大田市	1,347,060	+19.6%
安来市	1,134,337	+21.3%
津和野町	1,088,438	+7.8%
雲南市	1,072,561	+7.3%
奥出雲町	927,698	+17.6%
益田市	838,401	+34.9%
飯南町	377,234	+0.8%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社(出雲市)	7,114,000	+15.5%
美保関(松江市)	1,073,030	+9.9%
目御碕(出雲市)	1,056,140	+15.0%
三瓶山(大田市)	677,000	+13.1%
松江水郷祭(松江市)	650,000	+62.5%
太鼓谷稲成神社(津和野町)	544,118	+7.4%
石見海浜公園(浜田市)	516,770	-1.7%
玉造温泉(松江市)	494,495	+19.5%
道の駅湯の川(出雲市)	471,961	+3.9%
足立美術館(安来市)	464,873	+58.0%

(2) 地域別観光入込客延べ数

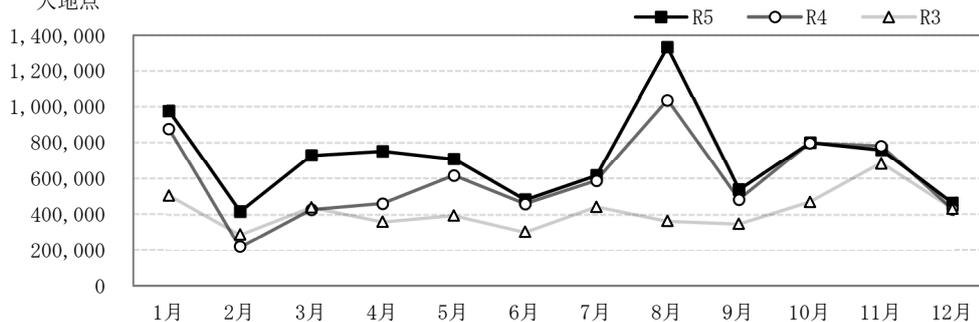
地域別に観光入込客延べ数を比べると、出雲地域が最も多く、12,088千人(+15.1%)、次いで松江地域8,570千人(+19.6%)、雲南地域2,377千人(+10.0%)、益田地域2,164千人(+17.5%)、浜田地域1,868千人(+15.1%)、大田地域1,792千人(+16.5%)、安来地域1,134千人(+21.3%)、隠岐地域201千人(+8.1%)の順となった。

前年と比較して、すべての地域において観光入込客延べ数は増加した。

〈地域別月別観光入込客延べ数の推移〉

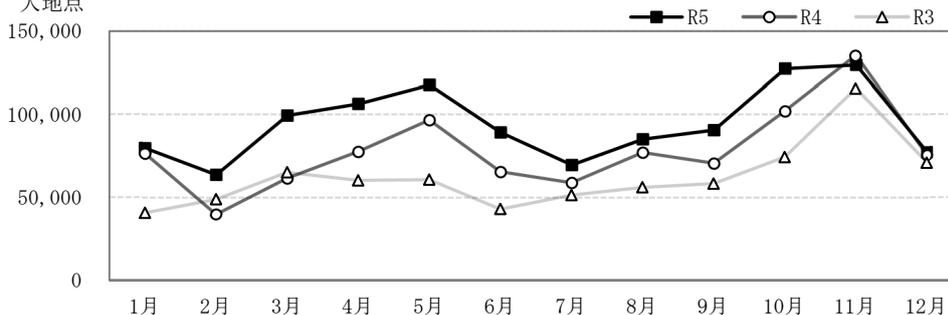
松江地域

人地点

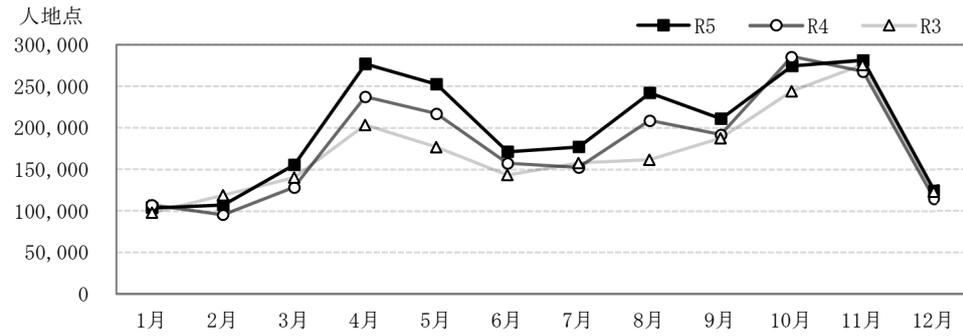


安来地域

人地点

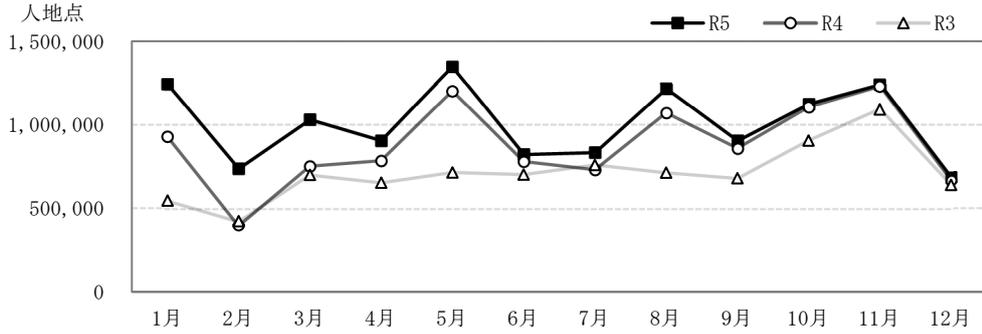


雲南地域



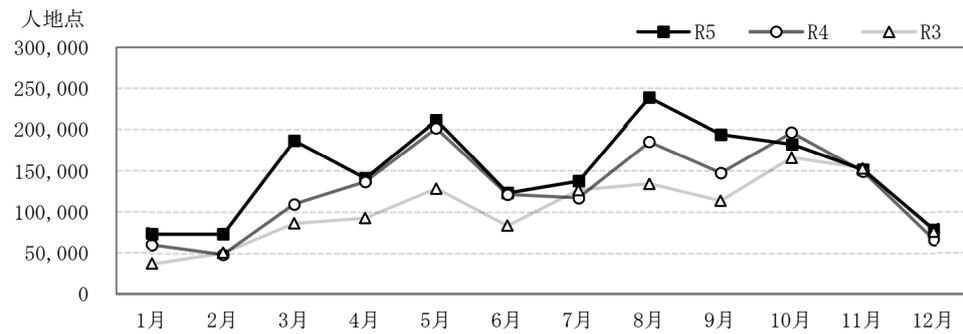
年	入込客延べ数
R5	2,377,493
R4	2,162,340
R3	2,028,986
対比	増減
R5対R4	+10.0%
R5対R3	+17.2%

出雲地域



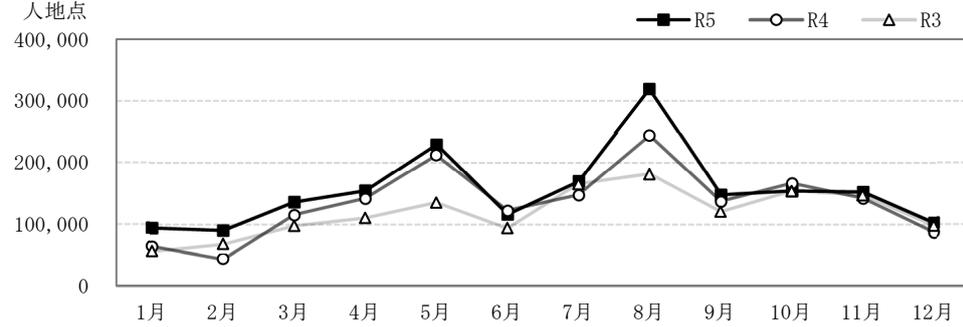
年	入込客延べ数
R5	12,087,648
R4	10,500,522
R3	8,531,238
対比	増減
R5対R4	+15.1%
R5対R3	+41.7%

大田地域



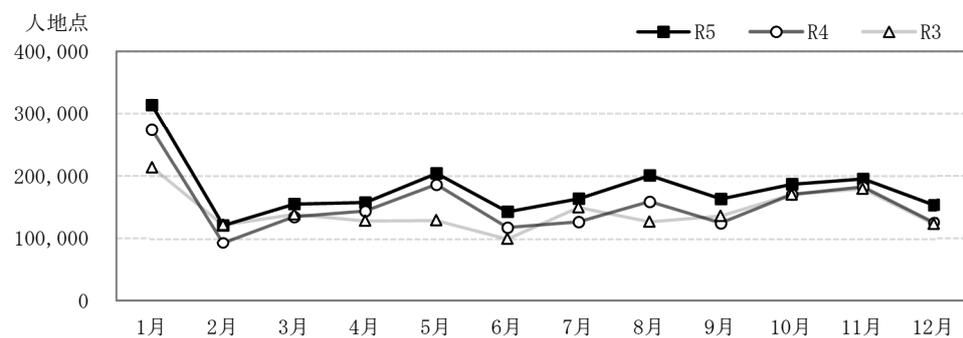
年	入込客延べ数
R5	1,792,009
R4	1,537,636
R3	1,246,172
対比	増減
R5対R4	+16.5%
R5対R3	+43.8%

浜田地域



年	入込客延べ数
R5	1,867,988
R4	1,623,280
R3	1,426,743
対比	増減
R5対R4	+15.1%
R5対R3	+30.9%

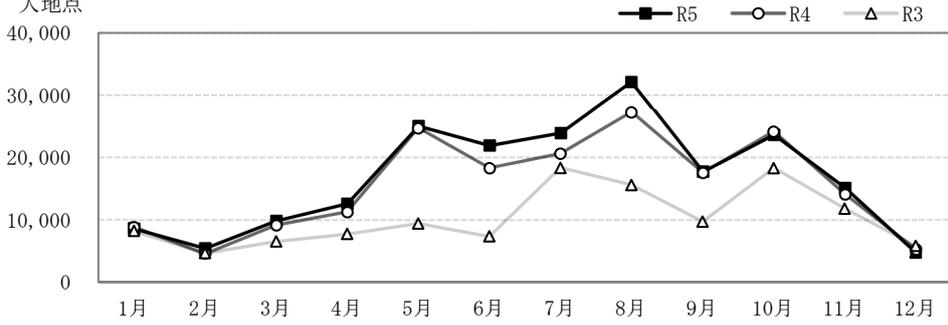
益田地域



年	入込客延べ数
R5	2,163,507
R4	1,841,918
R3	1,718,250
対比	増減
R5対R4	+17.5%
R5対R3	+25.9%

隠岐地域

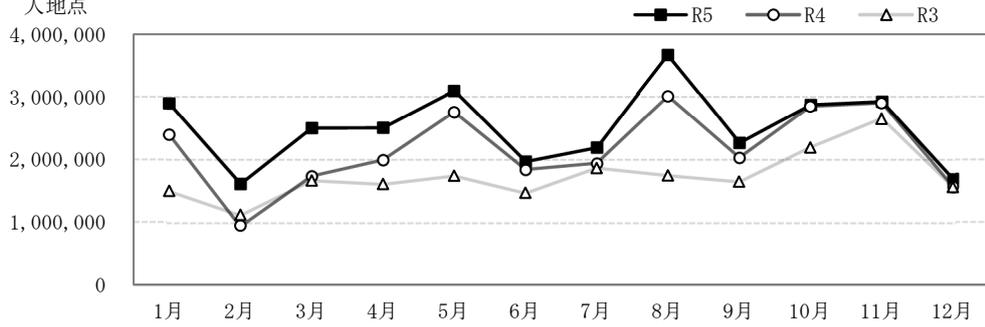
人地点



年	入込客延べ数
R5	200,753
R4	185,786
R3	123,491
対比	増減
R5対R4	+8.1%
R5対R3	+62.6%

全県

人地点

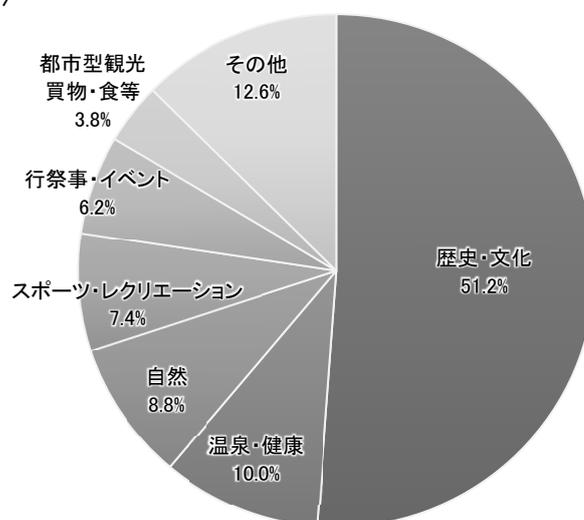


年	入込客延べ数
R5	30,193,591
R4	25,950,467
R3	20,842,018
対比	増減
R5対R4	+16.4%
R5対R3	+44.9%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く51.2%、次いで「温泉・健康」10.0%、「自然」8.8%、「スポーツ・レクリエーション」7.4%であった。

〈行動目的別割合〉



〈行動目的別入込客延べ数、対前年増減〉

行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	15,451,824	+16.0%
温泉・健康	3,005,783	+13.6%
自然	2,671,658	+9.3%
スポーツ・レクリエーション	2,236,740	+3.0%
行祭事・イベント	1,871,158	+95.9%
都市型観光 買物・食等	1,159,467	+4.4%
その他	3,796,961	+14.9%

〈行動目的別（小分類）観光入込客延べ数の上位5区分（その他除く）〉

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	10,816,893	+13.8%
温泉・健康	温泉	3,005,783	+13.6%
自然	海岸	1,545,223	+4.1%
歴史・文化	博物館	1,344,712	+14.2%
歴史・文化	美術館	883,985	+36.2%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

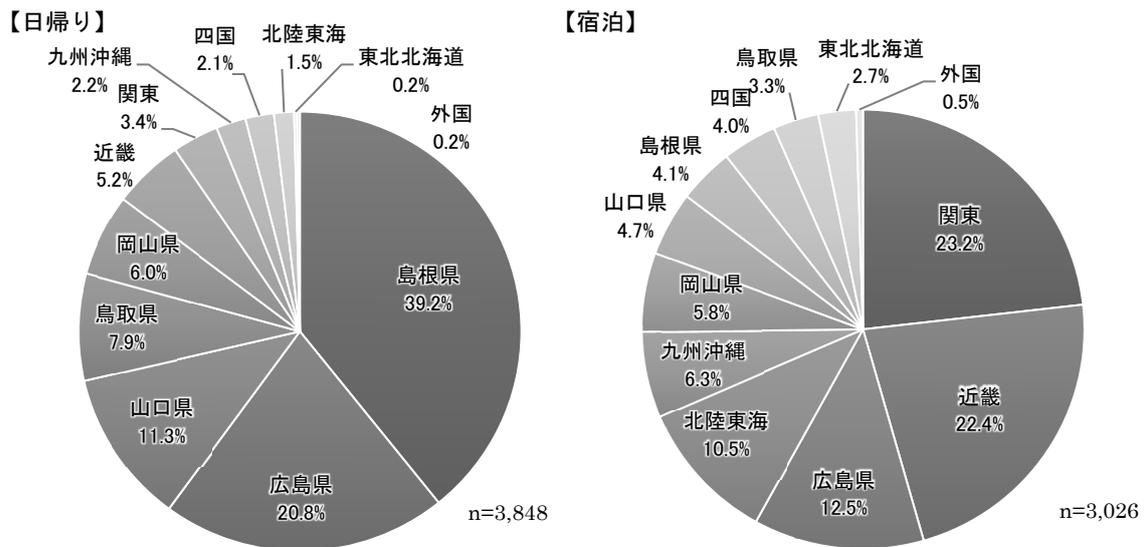
令和5年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析した。

（1）発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入込客割合

日帰りでは、島根県が最も多く 39.2%、次いで広島県 20.8%であった。島根県は前年から 5.0 ポイント減少した。

宿泊では、関東が最も多く 23.2%、次いで近畿 22.4%であった。構成比は、前年から中国が 1.9 ポイント減少し、近畿が 1.8 ポイント増加した。

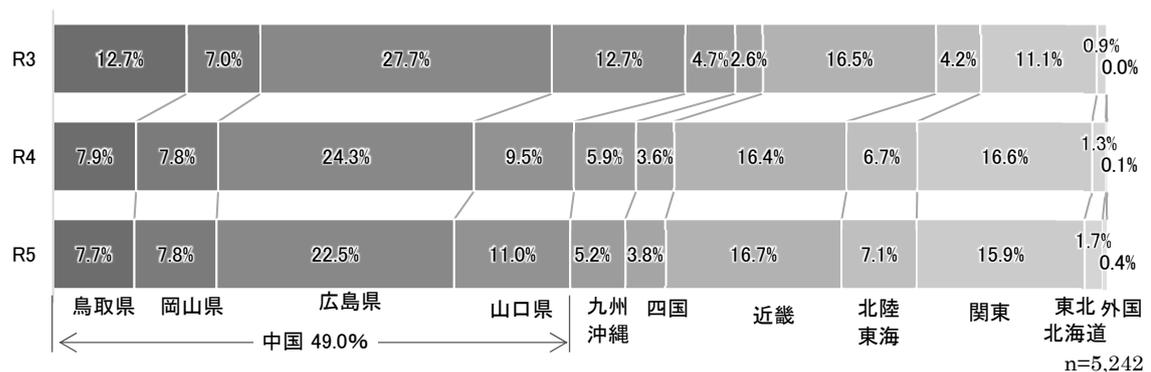


		東北	関東	北陸	近畿	中国					四国	九州	外国	
		北海道		東海			鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	沖縄		
日 帰 り	R4	0.2%	2.5%	1.1%	5.2%	87.1%	8.1%	44.2%	5.1%	20.3%	9.4%	1.5%	2.2%	0.1%
	R5	0.2%	3.4%	1.5%	5.2%	85.3%	7.9%	39.2%	6.0%	20.8%	11.3%	2.1%	2.2%	0.2%
	対前年増減	-0.0%	+0.9%	+0.3%	-0.0%	-1.8%	-0.2%	-5.0%	+0.9%	+0.6%	+1.9%	+0.6%	-0.1%	+0.2%
宿 泊	R4	1.9%	24.5%	9.8%	20.6%	32.3%	2.6%	5.7%	6.3%	14.2%	3.5%	4.0%	6.9%	0.1%
	R5	2.7%	23.2%	10.5%	22.4%	30.4%	3.3%	4.1%	5.8%	12.5%	4.7%	4.0%	6.3%	0.5%
	対前年増減	+0.8%	-1.3%	+0.7%	+1.8%	-1.9%	+0.8%	-1.6%	-0.5%	-1.7%	+1.2%	+0.0%	-0.6%	+0.4%

イ. 発地別県外入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く 22.5%、次いで近畿 16.7%、関東 15.9%であった。

〈発地別県外入込客割合の推移〉

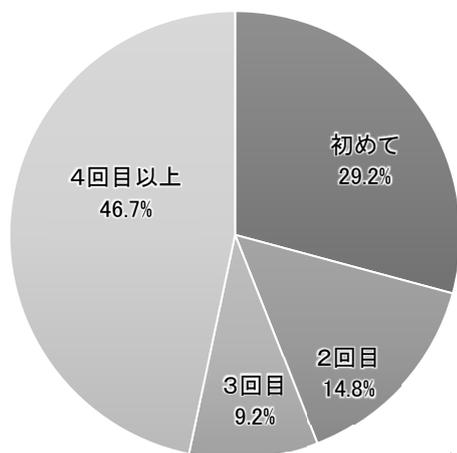


(2) 旅行回数

観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4回目以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多かった。島根県への訪問回数は、日帰り宿泊ともに「4回目以上」が最も多かった。

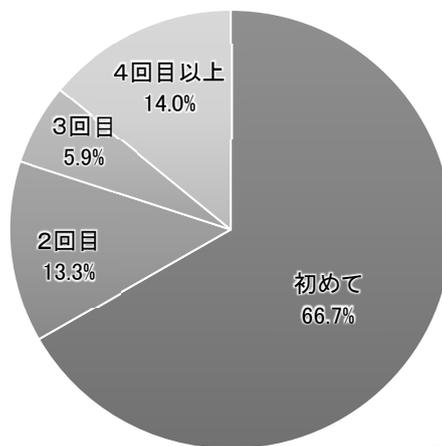
ア. 観光施設の訪問回数

【日帰り】



n=10,793

【宿泊】

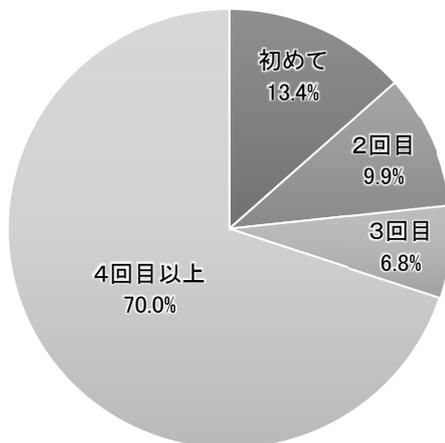


n=8,003

イ. 島根県の訪問回数

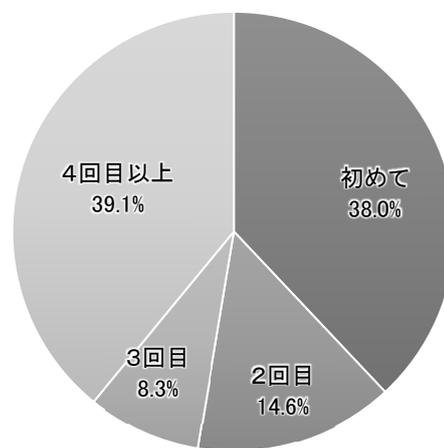
※この項目は県外客を対象に「島根県への訪問回数」を質問した。

【日帰り】



n=6,487

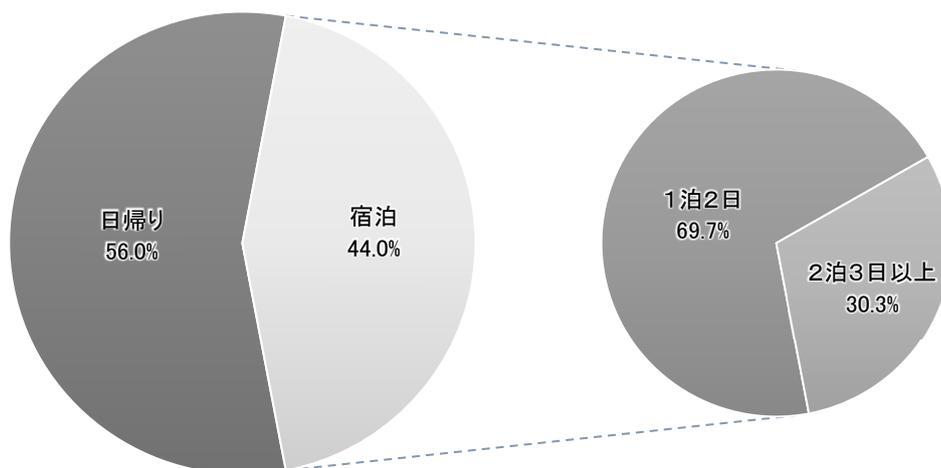
【宿泊】



n=7,489

(3) 旅行日程

「日帰り」が 56.0%、「宿泊」が 44.0%であり、「宿泊」のうち 69.7%が「1泊2日」であった。



n=6,874

(4) 宿泊する市町村及び宿泊施設

宿泊する市町村では「松江市」が 47.7%、次いで「出雲市」が 25.6%であり、全体の約 7 割 (73.3%) を占めていた。

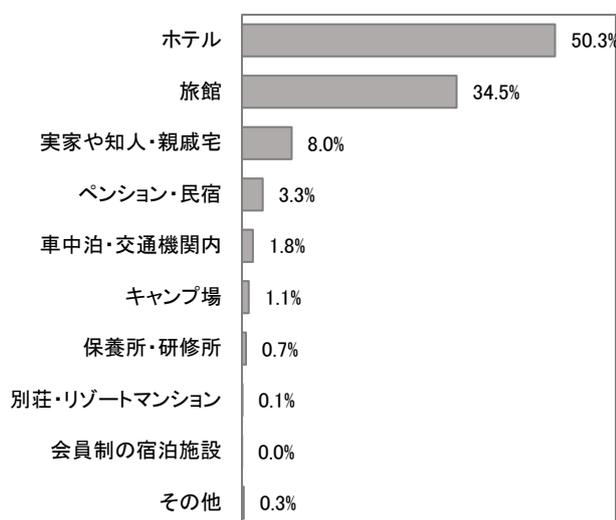
宿泊施設では「ホテル」が 50.3%、次いで「旅館」が 34.5%であり、全体の約 8 割 (84.7%) を占めていた。

【市町村】



n=4,255

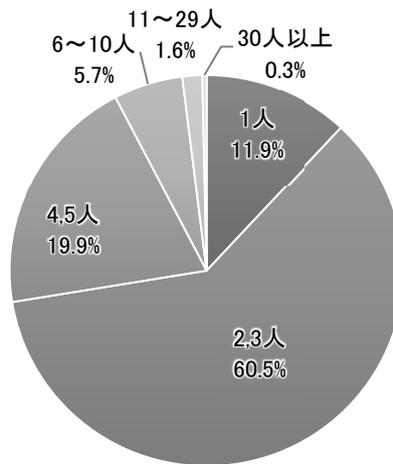
【宿泊施設】



n=4,255

(5) 同行人数

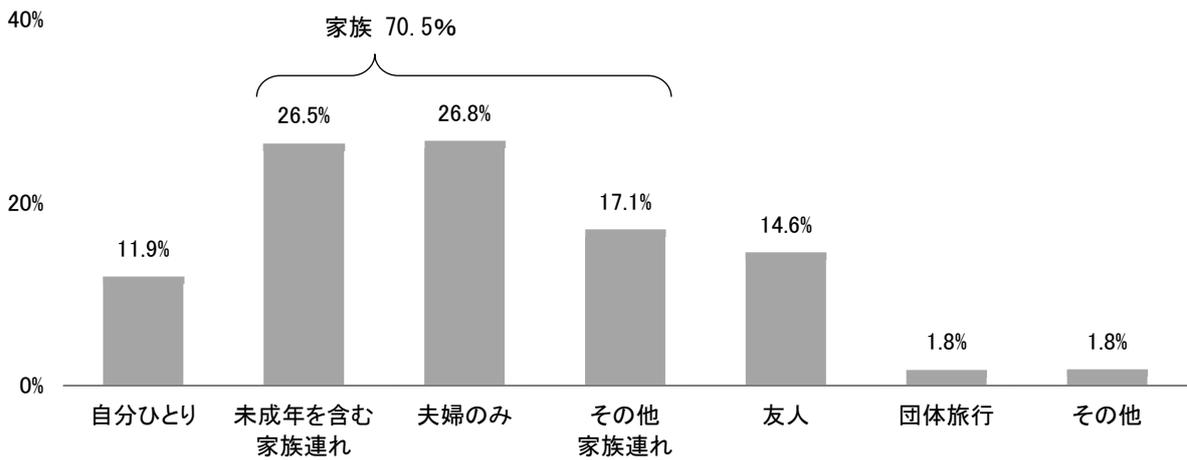
「2、3人」が最も多く 60.5%、次いで「4、5人」が 19.9%であった。



n=6,874

(6) メンバー構成

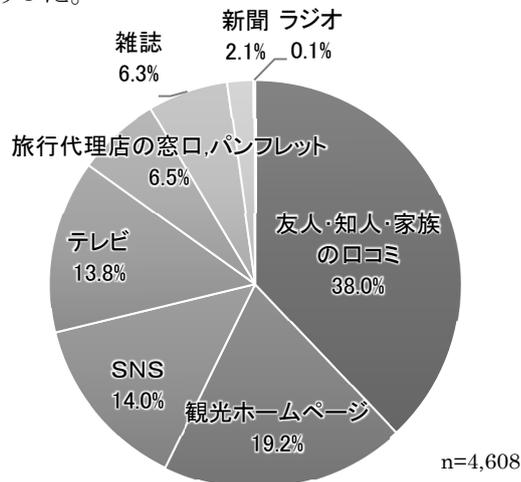
「家族」が最も多く 70.5%、次いで「友人」が 14.6%であった。



【複数回答】 n=6,874

(7) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

その他の回答を除くと、「友人・知人・家族の口コミ」が最も多く 38.0%、次いで「観光ホームページ」が 19.2%であった。



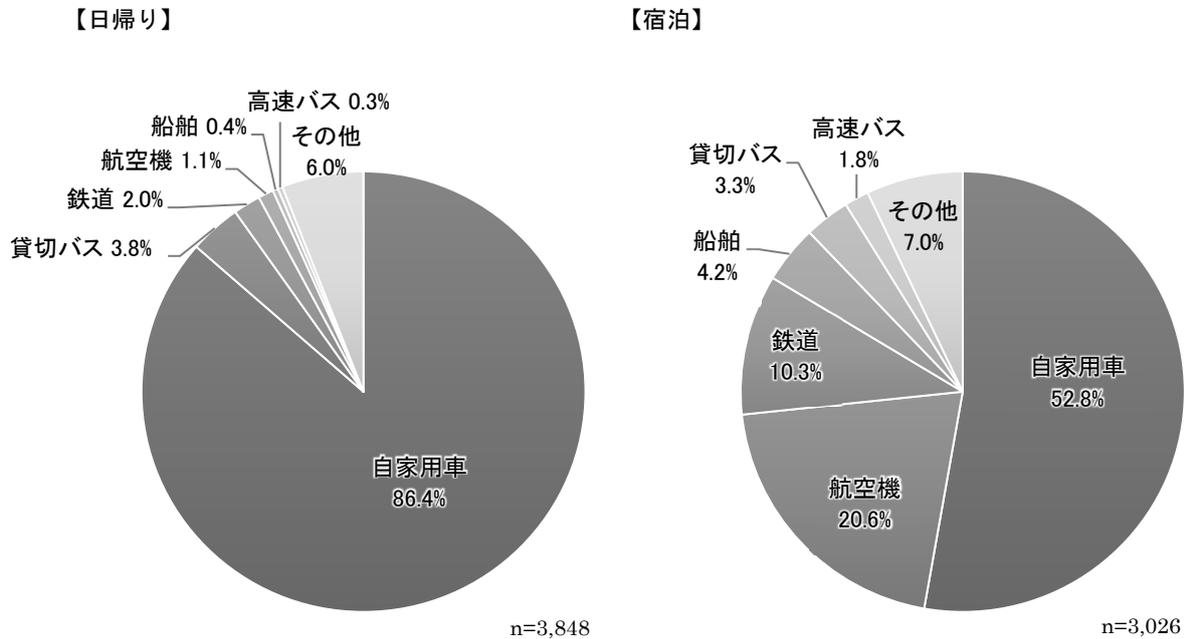
n=4,608

(8) 利用交通機関

ア. 日帰り・宿泊別利用交通機関割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く 86.4%、次いで「貸切バス」が 3.8%であった。

宿泊では、「自家用車」が最も多く 52.8%、次いで「航空機」20.6%、「鉄道」10.3%であった。

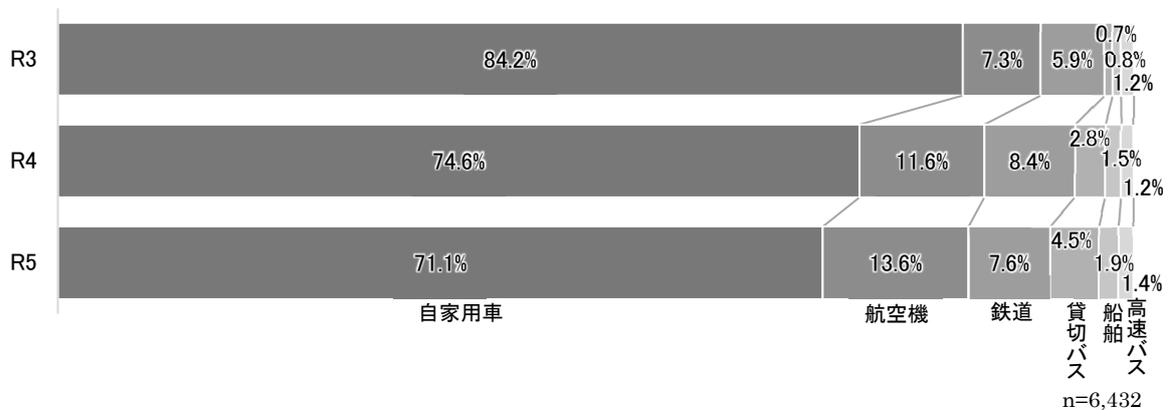


イ. 県外利用交通機関割合

県外客の利用交通機関をみると、「自家用車」が最も多く 71.1%、次いで「航空機」13.6%、「鉄道」7.6%であった。

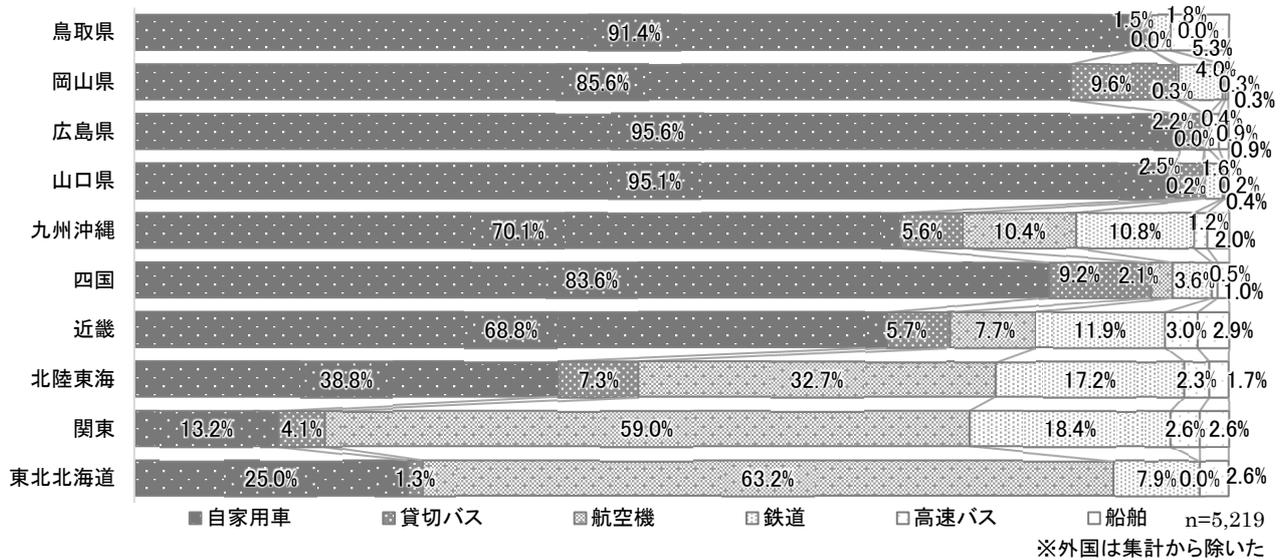
前年から「自家用車」の割合は 3.4 ポイント減少し、「航空機」の割合は 1.9 ポイント増加した。

〈県外利用交通機関割合の推移〉



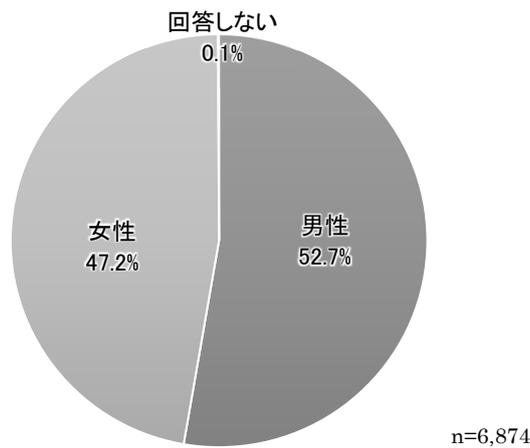
ウ. 県外地域別利用交通機関割合

県外客について地域別に利用交通機関をみると、「自家用車」が中国では約9割、四国では8割以上を占めていた。「航空機」が最も高いのは東北北海道、「鉄道」が最も高いのは関東であった。



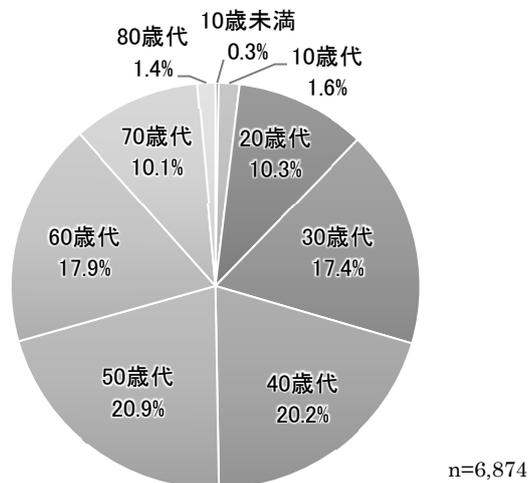
(9) 性別

「男性」が52.7%、「女性」が47.2%であった。



(10) 年齢

「30歳代」から「60歳代」がそれぞれ約2割ずつを占めていた。

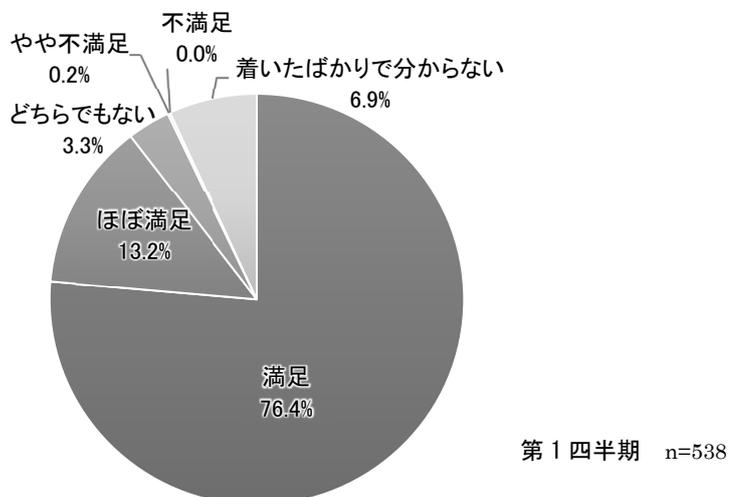


(11) 満足度 (5段階評価)

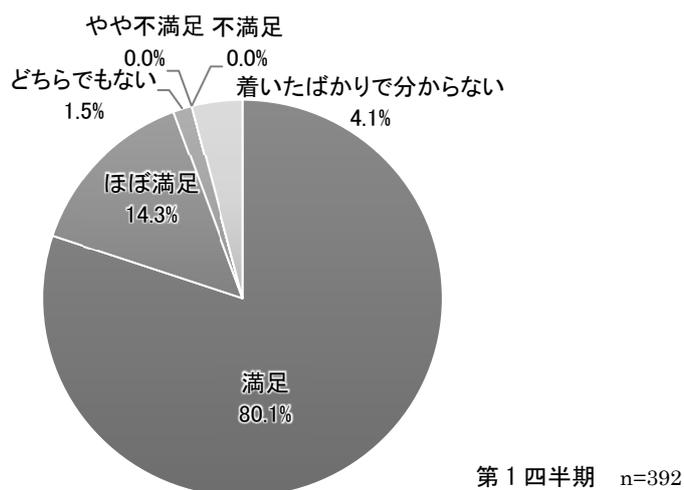
日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合すると約9割を占めていた。

※第2四半期から選択肢を11段階に変更したため、第1四半期と第2四半期～第4四半期を分けて集計した。

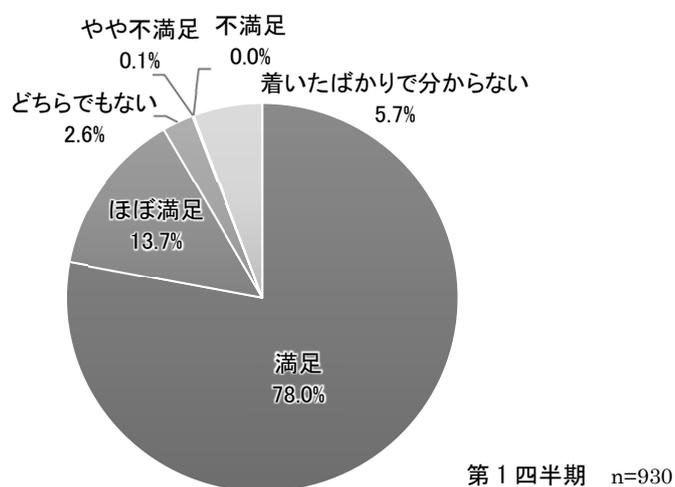
【日帰り】



【宿泊】



【全体】

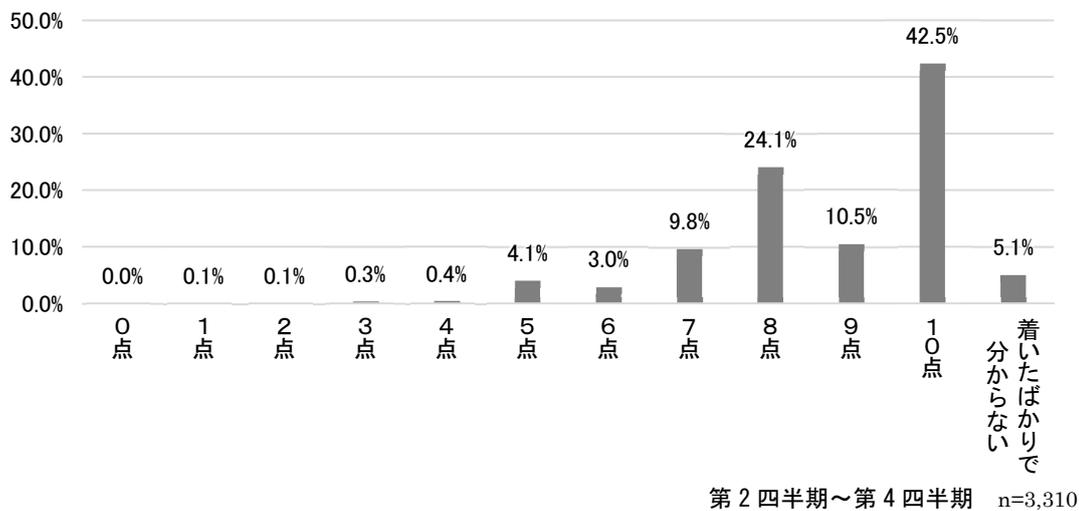


(11) 満足度 (11 段階評価)

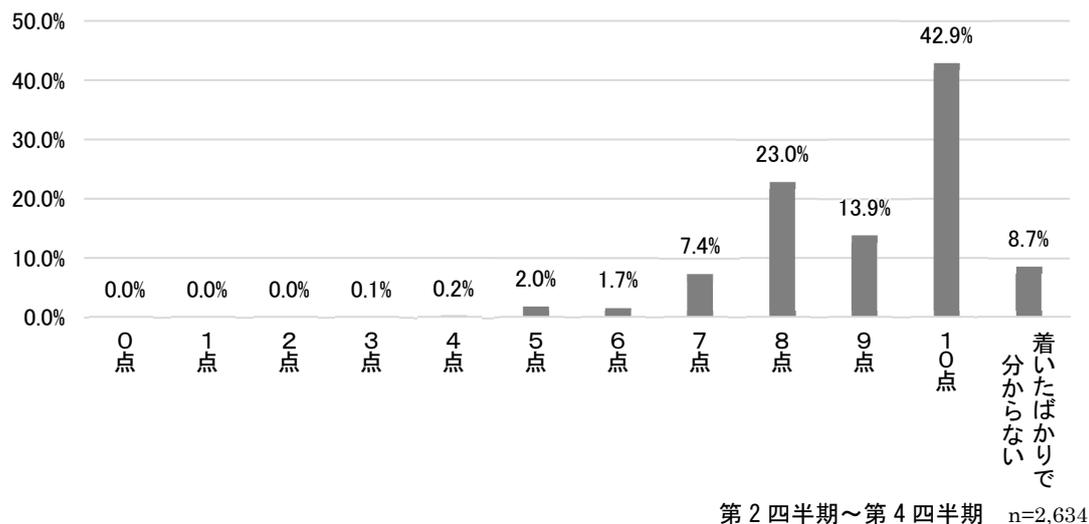
日帰り宿泊ともに、10 点が最も多く、約 4 割を占めていた。

※第 2 四半期から選択肢を 11 段階に変更したため、第 1 四半期と第 2 四半期～第 4 四半期を分けて集計した。

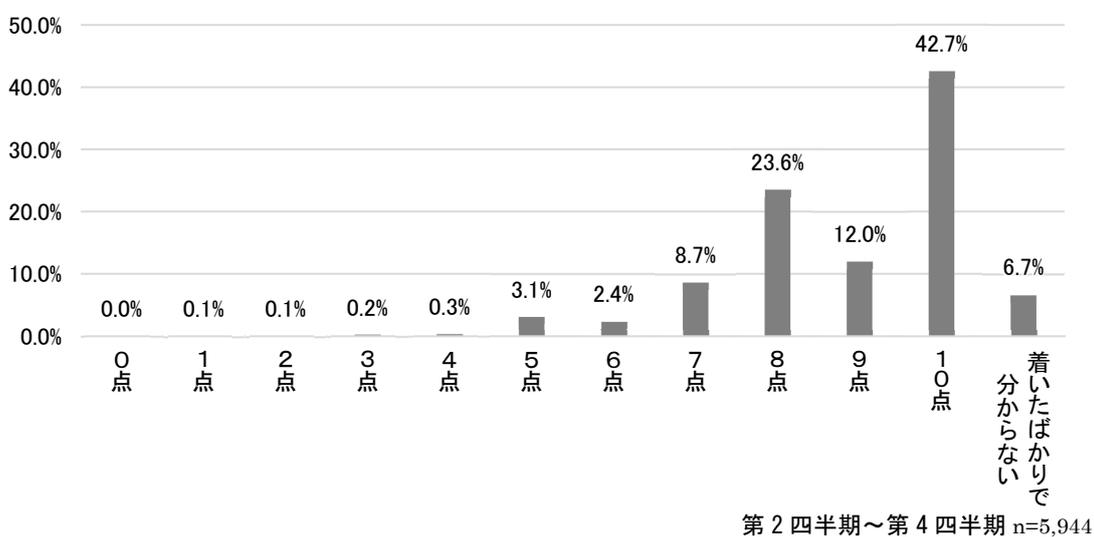
【日帰り】



【宿泊】



【全体】



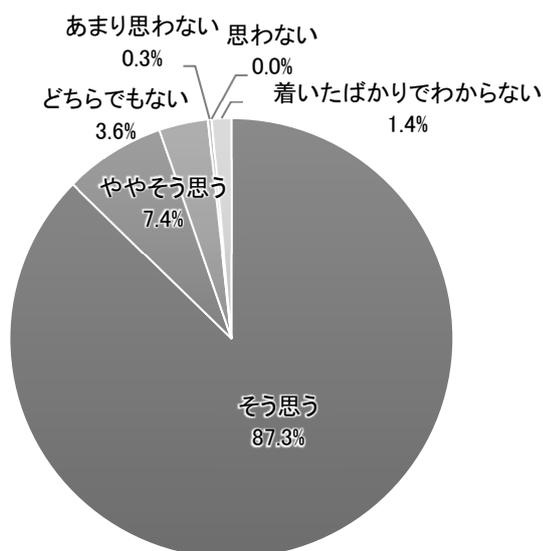
(13) 推奨意向 (5段階評価)

ア. 島根県での観光の推奨意向

県外客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」は、「そう思う」と「ややそう思う」を合すると9割以上であった。県内容の島根県での観光の推奨意向についても同様の割合であった。

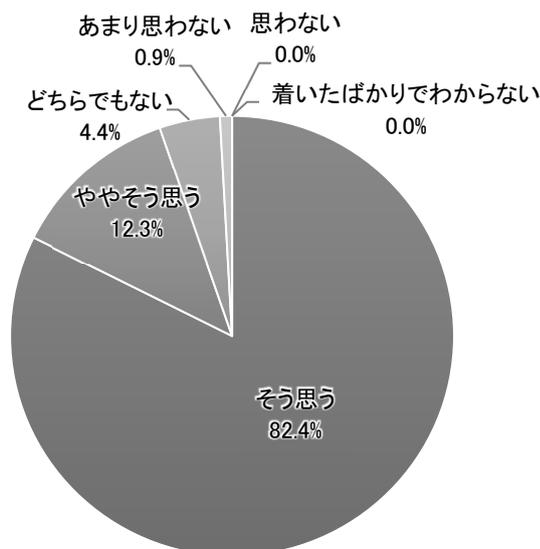
※第2四半期から選択肢を11段階に変更したため、第1四半期と第2四半期～第4四半期を分けて集計した。

【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～（県外客）】



第1四半期 n=703

【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～（県内容）】

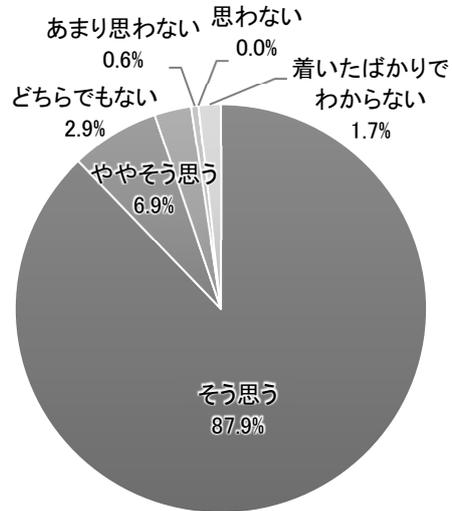


第1四半期 n=227

イ. 島根県への訪問回数別推奨意向

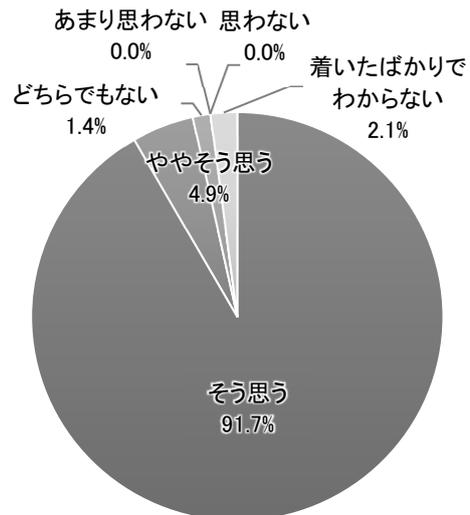
県外客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、「そう思う」の割合は訪問2～3回目で最も高く、9割以上であった。

【訪問1回目】



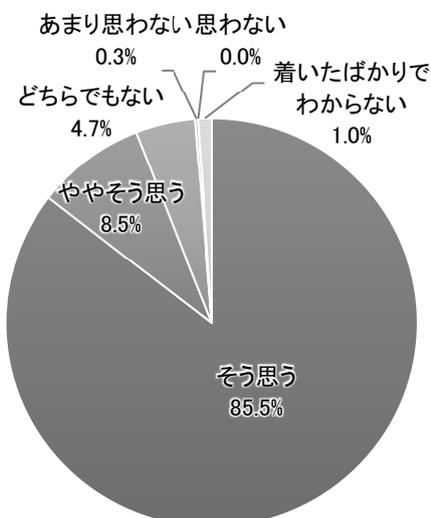
第1四半期 n=173

【訪問2～3回目】



第1四半期 n=144

【訪問4回目以上】

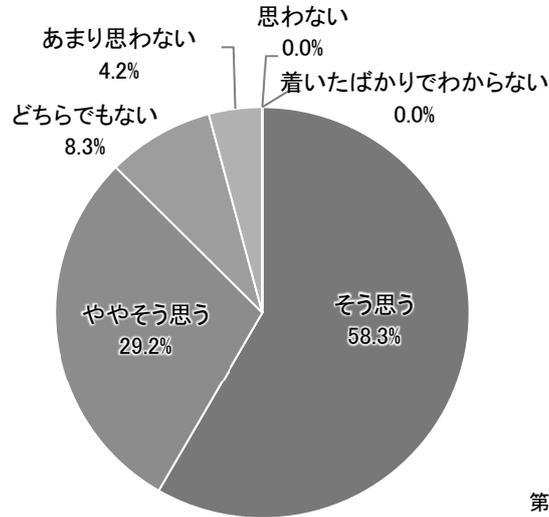


第1四半期 n=386

ウ. 観光施設への訪問回数別推奨意向

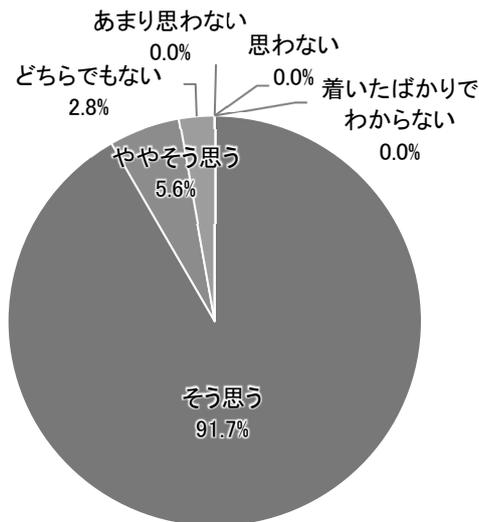
県内客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、「そう思う」の割合は訪問2～3回目で最も高く、9割以上であった。

【訪問1回目】



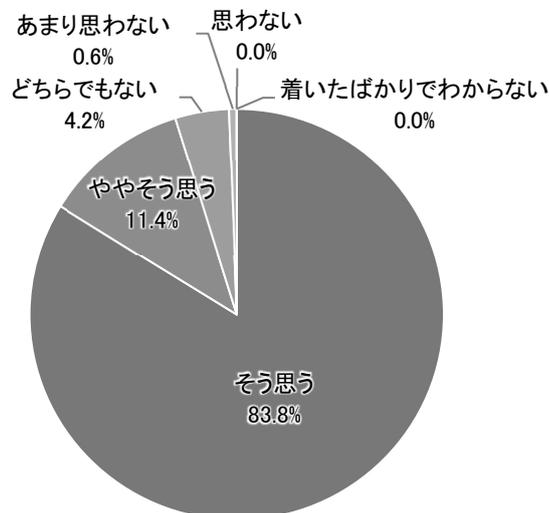
第1四半期 n=24

【訪問2～3回目】



第1四半期 n=36

【訪問4回目以上】



第1四半期 n=167

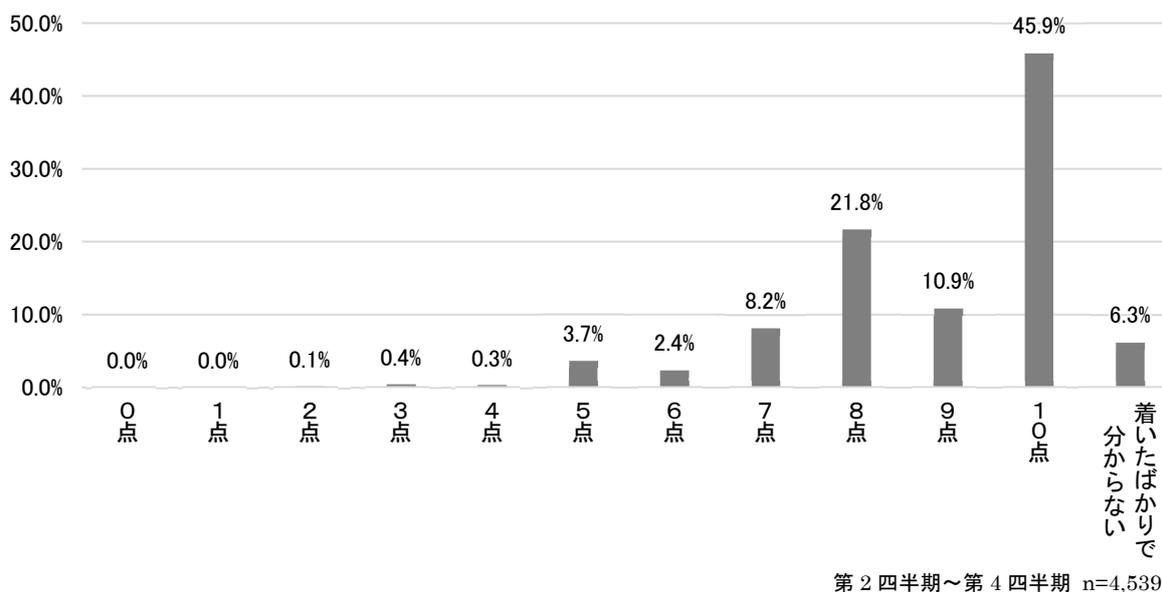
(14) 推奨意向 (11段階評価)

ア. 島根県での観光の推奨意向

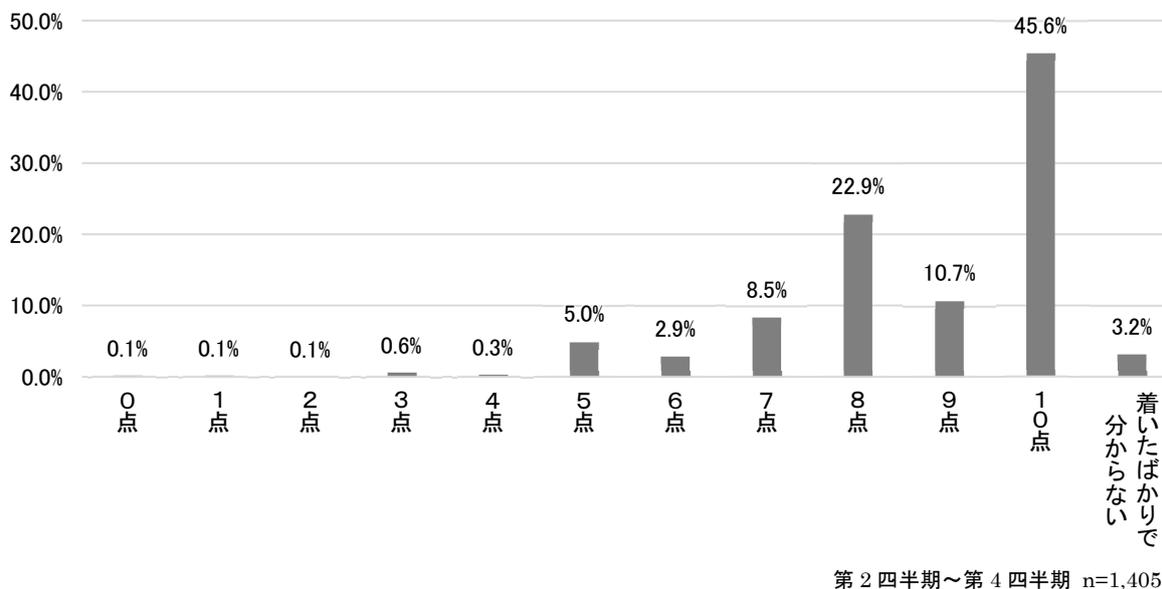
県外客、県内容ともに「島根県での観光の推奨意向 (親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか)」は、10点が多く、約5割を占めていた。

※第2四半期から選択肢を11段階に変更したため、第1四半期と第2四半期～第4四半期を分けて集計した。

【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～ (県外客)】

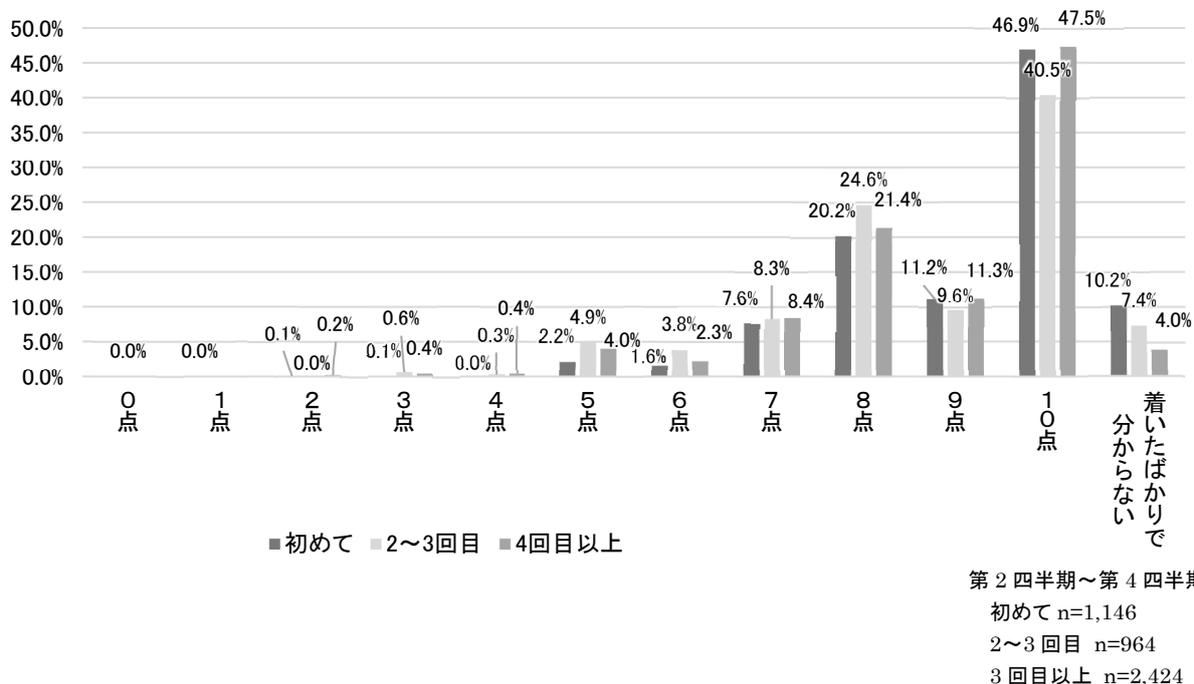


【島根県での観光の推奨意向～親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか～ (県内容)】



イ. 島根県への訪問回数別推奨意向

県外客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、初めて、4回目以上と比べて、2～3回目の評価が低くなる傾向がみられた。



ウ. 観光施設への訪問回数別推奨意向

県内客の「島根県での観光の推奨意向（親しい人に島根県での観光をおすすめしたいと思うか）」について訪問回数別にみると、県外客同様に初めて、4回目以上と比べて、2～3回目の評価が低くなる傾向がみられた。

